

(平成18年7月分)

部 門	市況の概要
野 菜	7月期の野菜の市況については、全般的に春先からの低温・日照不足の影響が見られる中、下旬の大雨による被害により特に高冷地、高原野菜の入荷に大きな影響が出ることとなったが、貯蔵品目の安定した入荷もあり、全体としては、昨年並みの入荷量を確保した。 価格は、下旬の一時的な大雨による被害が入荷量に影響し、相場を高騰させることとなり、結果として、前年同期を10%上回った。 品目別には、長大根、きゅうり、なすが入荷減の単価高で推移し、白菜、キャベツ、レタス、ピーマンが前年並みの入荷ながら単価高で推移した。ばれいしょは、入荷増の単価安となった。 根菜類は、入荷が5%減少し、価格は35%高となった。 葉菜類は、入荷は前年並み、価格は11%高となった。 果菜類は、入荷は前年並み、価格は9%高となった。 土物類は、入荷が3%増加し、価格は5%安となった。
果 実	7月期の果実の市況については、もも、すいかを始め、全品目を通して日照不足の影響から着色・生育不良が生じて入荷量が減少し、全体としては、前年同期を8%下回った。 価格は、入荷減に加えて、中元商戦の中で主力品目の需要の伸びから前年同期を7%上回った。 柑橘類は、入荷が15%減少し、価格は10%高となった。 りんごは、入荷量、価格ともに前年並みとなった。 もも類は、入荷が21%減少し、価格は20%高となった。 すもも類は、入荷が26%減少し、価格は31%高となった。 ぶどうは、入荷が11%減少し、価格は前年並みとなった。 メロンは、入荷が15%減少し、価格は15%高となった。 スイカは、入荷が5%減少し、価格は前年並みとなった。

【果菜類】 きゅうり	福島，愛媛を中心とする入荷。6月までの曇天，低温に引続き，7月も長雨の影響を受け，各産地ともに生育の遅れが生じた。結果として，入荷量は前年同期を9％下回った。 価格は，入荷減により前年同期を9％上回った。
なす	京都を主力に徳島，高知，奈良を中心とする入荷。6月までの曇天，低温に引続き，7月も長雨の影響を受け，各産地ともに生育の遅れが生じた。結果として，入荷量は前年同期を5％下回った。 価格は，入荷減により前年同期を5％上回った。
トマト	北海道を主力に京都，岐阜を中心とする入荷。全体的に1週間程度の出荷の遅れがあったが，上中旬の気温の上昇により，出荷量が急増した。結果として，入荷量は前年同期を10％上回った。 価格は，入荷増ながら下旬の悪天候による品薄感から前年並みを確保した。
ピーマン	大分，兵庫，福島，茨城を中心とする入荷。各産地ともに平年より1～2週間程度の遅れがあったものの，入荷量は平年並みとなった。 価格は，下旬の悪天候による品薄感から，結果として前年同期を8％上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)	長崎，青森を中心とする入荷。春先からの天候不順にあって，貯蔵物の入荷により，比較的安定した入荷となり，結果として，前年同期を25％上回った。 価格は，入荷増と夏場の消費低迷により，前年同期を28％下回った。
たまねぎ	兵庫を中心とする入荷。Lサイズ中心に順調な入荷となり，入荷量は，昨年並みとなった。 価格は，入荷量と同様に前年並みとなった。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	佐賀，長崎，福岡，和歌山からの入荷。各産地ともに春先からの日照不足・曇天の影響により，入荷量は，前年同期を 21 % 下回った。 価格は，入荷減に加えて，中元ギフト需要もあって前年同期を 14 % 上回った。
ふ じ	青森のみの入荷。産地在庫が多く安定した入荷となり，前年並みの入荷となった。 価格は，下旬に安値基調で推移し，前年同期を 7 % 下回った。
も も	和歌山，山梨，長野を中心とする入荷。各産地ともに日照不足・曇天の影響から出荷に遅れと品質低下が生じた。とりわけ，下旬の長雨が入荷量の減少に大きく影響した。結果的に，前年同期を 21 % 下回った。 価格は，入荷減に加え，中元ギフト需要もあって大玉を中心に高値で推移し，前年同期を 19 % 上回った。
すもも	和歌山，山梨，長野を中心とする入荷。開花期の天候不良により，大石早生を中心に入荷量が減少した。また，下旬の長雨が入荷量の減少に大きく影響した。結果的に，前年同期を 27 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 31 % 上回った。
さくらんぼ	山形，北海道を中心とする入荷。各産地ともに生育の遅れから出荷が今月にずれてきており，入荷量は前年同期を 29 % 上回った。 価格は，品質が良好であり，入荷増ながら前年同期を 14 % 上回った。
デラウェア	島根，奈良，大阪，京都を中心とする入荷。先月から遅れていた出荷が順調に回復し，前年並みの入荷となった。 価格は，競合品目も無く，パックものを中心に需要が多く，前年同期を 10 % 上回った。
巨 峰	長野，福岡を中心とする入荷。各産地ともに日照不足・曇天の影響から出荷に遅れが生じ，入荷量は前年同期を 23 % 下回った。 価格は，化粧箱を中心に中元ギフト需要の伸びから高値基調ではあったものの，結果的に前年並みとなった。

アールスメロン すいか	静岡，愛知，高知，宮崎からの入荷。各産地ともに作付面積の減少に伴って出荷量が減少し，入荷量は前年同期を１１％下回った。 価格は，入荷減に加え，中元需要の伸びから前年同期を１２％上回った。 鳥取，長野，秋田，山形，石川，愛知からの入荷。各産地ともに天候不良の影響から出荷の遅れが生じ，入荷量は前年同期を８％下回った。 価格は，入荷減ながら長雨の影響もあり，前年並みとなった。
---------------------------	--